

南町一丁目だより

発行日 平成 22 年 12 月 15 日
発行者 南町一丁目自治会
編集者 広報編集委員会
電話 221-2728 (谷中)

第 14 号

自治会長挨拶

去る 10 月 9 日、10 日の両日にわたり、皆様のご支援とご協力を頂き、町内祭りを盛大に催すことが出来ました。改めて厚くお礼申し上げます。

初日には雨天でしたが、二日目は晴天となりました。事故も無く終了することが出来ましたことは、付き添ったご父兄の方々や、役員の皆様のご協力のお蔭と重ねて御礼申し上げます。

今後の自治会行事もいろいろ予定しておりますので、皆様のご協力をお願い致します。

(自治会長 田島 健司)



南町一丁目祭り

まずは、10月9日（土）、10日（日）の2日間、南町一丁目祭りが盛大に開催され、役員の方々や参加者の協力のもと無事に終了できたことに、感謝を申し上げます。

今年から太鼓に低学年1、2年生も参加できるようになり、約1ヶ月前から祭りに向けた練習を行ないました。初めての低学年参加ということで子ども達自身も本番でも同じように練習の成果を発揮できるかどうか、不安を抱いていました。

祭り一日目、残念ながら豪雨になってしまい子ども達が楽しみにしていた前橋の街中のパレードが中止になりました。雨の中でしたが、子ども達の熱意に推されみんなで合羽を着ながら町内でのパレードを決行しました。

二日目は秋晴れに恵まれ、予定通りに街中、町内のパレードを行うことができました。そのため、子ども達も日ごろの成果を存分に発揮し、楽しみながら太鼓を敲（たた）いていました。

本番では低学年生も自信を持って敲いていた姿が印象的でした。また六年生は今年最後の南町一丁目パレードで、私は一人ひとりの個性を思い出し、寂しく思いました。今年もこの南町一丁目祭りに参加させて頂いて、20年以上になりますが毎年六年生を送りだして子ども達が仲良く頭張っている姿を見ると、何度も経験していてもうれしく思います。子ども達にとって南町一丁目祭りがいつまでも良い思い出として残るようにこれからも努力したいと思います。

（実行委員長／成年会会長 金古 義彦）

楽しかったお祭り

わたしは、今年はじめて、太この練習に、さんかしました。

さいしょは、むづかしかったけど、何度もやって暗記もできるようになりました。

本番の一日目は雨で、町にはいけないかわりに、町内パレードをしました。わたしがだしの上にいた時、ろうけんしせつに通っている人たちが見ていたので、少しきんちょうしました。

二日目は晴れたので、さいしょは、町内パレード、昼食後、町に行ってのパレードでした。町に行った時、はじめは、だしをひいていましたが、後は、だしに乗って、えんそうしていました。練習の時より、じょうずにできたと思います。町に着き、15～20分の自由時間には、妹と妹の友だちといっしょに、カステラをかい、金魚すくいをしました。はじめて自分で金魚がすぐえたのでうれしかったです。

帰りは、5、6年生が、中心に、えんそうをしました。さいごに、町内を一周回って終わりです。この時も、5、6年生が中心にえんそうをしました。6年生は、さいごのお祭り、さいごのえんそうで、とても、気持ちがこもったえんそうに聞こえました。

二日間のお祭りが終わって、どつつかれが出ましたが、楽しかったので、来年もがんばろうと思います。

（2年 あら川 真由）

素晴らしいお祭りをありがとうございます

山車に乗って太鼓をたたいたよ、楽しかったあ。」「もっと山車の上で太鼓をたたきたかったなあ。」子供達より興奮した喜びの声を聞き、無事に終わった南町一丁目祭り。今年は、9月よりお囃子の練習が始まり、1年生から6年生まで、多くの子供達が参加してくれました。頑張ったお蔭で、一年生も中々上手にたたけるようになりました。そこで、ご褒美に、なんと一年生も、練習に参加した子は山車の上で勇壮なばちさばきを披露させてもらいました。

一日目は雨の中、全員合羽を着て演奏です。雨にも負けず大奮闘、こんな姿も良い記念ですね。そして二日目は、素晴らしい秋晴れ、気持ちよく太鼓も響き渡り、いよいよ前橋まつり、立川町大通りへ出発です。前日は雨の為、二日目は大勢の人が見守っています。六年生がんばれ、緊張しながら真剣な眼差しで演奏し、南町一丁目の皆さんのが山車を引いて下さいます。幼稚園生、小学生、中学生、自治会、成年会の方々、お父さん、お母さん、皆さんが、南町一丁目の祇園山車を引き、勇壮な姿を披露して頂きました。

このような伝統ある南町一丁目祭りを今年も迎えることができましたのも、町内の皆様のお蔭です。そして、自治会、成年会の皆様には、毎日のお仕事の後、お疲れの中、お囃子の指導や、お祭りの準備と大変お世話になりました。子供達も、時には厳しく、時には優しく、学校では味わえない体験を通して、南町一丁目を誇りに思い、郷土愛を育んでゆくと思います。

これからも、来年、再来年と、素晴らしいお祭りが続きますよう願っております。

育成会の御父兄の皆様、ご協力ありがとうございました。今後多くの方のご参加、御協力を
お願いします。南町一丁目の子供達は多くの町内の皆様に温かく見守られ、育まれています。素
晴らしい南町一丁目に感謝いたします
(子ども育成会会长 深津 香代子)

楽しかった前橋まつり

前橋まつりがさい高に楽しかったです。

9月下旬、よる、練習が始まりました。3年生たちが横にならんでたたきました。さいしょは、「みんなよりがんばらないと」と思いました。一週間後になったら、そんなことはわすれていきました。10月の上じゅん、本番近くになりました。外でやる時は雨がふったりしてトラブルばっかでした。でも、「やる時はやろう」と思いました。本番の朝に、せなかに『祭』と書かれたはっぴをきて、おびをまいて、小道具、くつなどもつけたりはいたりしました。今日は、ざんねんながら雨でした。めったにこれないお父さんもいたのに、町には行きませんでした。お昼を食べ終わっていても雨、今日はかいさんになりました。とてもショックです。次の日はちょっと曇っていました。でも晴れたのでうれしいです。

来年は二日とも晴でいてほしいです。

(3年 松永 春紀)

笑顔が集う

年に一度、南町一丁目の笑顔が集う前橋まつり。初日は、何だかあやしい空模様。出発式後に町内めぐりに出発、帰って来る頃には、もう雨が降り出しました。午後の街のパレードは中止になってしまい、子供達は残念そう。雨がひどくなった為、子供達は集会所へ、山車は小屋へ、とたんにお祭り広場はひっそりしてしまいました。テントの中も肌寒くなり、暖かいお茶が喜ばれました。

二日目は、お天気にも恵まれ、子供達の元気な声が聞かれ、参加の大人達にも笑顔がこぼれました。抽選に来た人が本部席の前を通り挨拶して下さり、久しぶりに元気な姿にお目にかかるて、近況が聞けたりする事が何よりもうれしいひとときでした。今年は1日目が雨だったため、2日に都合がつかなかった人にはお会いできなかったかもしれません、来年のお祭りには、町内の人気がもっともっとたくさん広場に足を運んでいただいて、楽しいふれあいの場になれたらいいなと思いました。

(民生委員 庭野 初代)

楽しかった前橋まつり

ぼくは、去年の6月に引っこして来て、今年初めて南町一丁目祭に参加しました。

初めて太鼓の練習をした時、どうたたいていいかわかりませんでした。周りで友だちたちが上手にたたいているのを見てすごいと思いました。そして、ぼくもみんなみたいにうまくたたけるようになるのかなーと少し不安になりました。

練習にかようのは、つかれていやな日もあったけど、休まずがんばりました。なかなか覚えられないリズムもあったけど、少しずつみんなに合わせてたたけるようになりました。

ついに、初めて、山車に乗って太鼓をたたく日がきました。ぼくは、山車を間近で見たこともなければ乗ったこともないので、とてもワクワクしました。ふ面を見なくてもうまくたたけたのでほっとしました。

いよいよ、お祭りの日がきました。一日目は、雨がふって街には行けなかたけど町内をめぐりました。雨の中で山車を引くのは大変でした。二日目はとてもいい天気になりました。5、6年生がいなかつたので、午前中はたくさん太鼓をたたけました。あんまり自信がなかったオオドもがんばってたたきました。他の地区の山車でも、友達が一生けん命太鼓をたたいていました。地区によって、山車やおはやしのリズムがちがっておもしろかったです。

お祭りでは、山車を引いたり太鼓をたたいたのでつかれたけれど、忘れられない思い出になりました。今でも、えんぴつを持つといバチ回しをしてしまいます。 (4年 香月 聰介)

初めての前橋まつり

「いよいよ明日は本番です。」先生が言いました。明日は、14日間の練習の成果を出す日です。どきどきしてきました。

練習の一回目、まずたいこの楽ふを読んでたたけるように練習しました。二回目は、急にかねをやりました。三回目と四回目は、かねとたいこを一生けん命おぼえて、五回目から笛の練習も始まりました。笛の練習は、息がもたなくて、へとへとになりながら練習しました。

十月に入ってからは、山車の上で練習です。初めて山車の上に乗って、わくわくしました。

その練習の本番は、今日は。

お祭り一日目、楽しくやるぞと思っていたら、雨がふってきました。みんなでかっぱを着て、山車をひっぱりました。午後はずっと山車に乗って、笛とかねとたいこをやり続けました。

お祭りの二日目は、朝からとてもいい天気でした。午前中は、マーチング・パレードをして、それが終わって、ハッピに着がえて、山車のみんなと合流しました。町中パレードで、一生けん命に笛とかねとたいこをやりました、

前橋まつりに出られて良かったと思いました。

(5年 大森 理沙)

育成会に入って

私が育成会に入ったのは3年生の時です。最初はとてもドキドキしていましたが、みんなと太鼓やカルタなどをやっているうちに育成会の行事が楽しみになっていきました。

つい最近、前橋まつりで太鼓や鉦をたたいたことが私の思い出です。5年にもなり、笛の練習もしてみましたが、「ピュー」というきれいな音が出せず、「ヒー」や「フー」とへんな音しか出てきませんでした。鉦もへんな所でまちがえたりしました。本番でまちがえた時には、「もう3年間も育成会やっているのだからおぼえろよオイ。」と心の中でもう一人の私がつぶやいていたので、来年は上手にたたきたいです。

また、12月くらいからカルタの練習も始まるのでがんばりたいと思います。昨年はがんばったのですが、負けてしまったので、今年は絶対勝ちたいと思います。

来年は最上級生としてみんなのまとめ役にならなければならないので、下級生に対してはぜひかしくないようにがんばりたいと思います。

育成会に入って本当に良かったと思います。

(5年 栗原 利美)



南町一丁目祭りに参加して

はじめに、この紙面をお借りして、ごあいさつ申し上げます。

本年から1組の組長となりました中嶋と申します。前橋刑務所の庶務課長を努めております。今後とも長いお付き合いをお願いいたします。

さて、10月9日（土）、10日（日）の2日間に渡り、南町一丁目祭りが開催されました。初日はあいにくの雨天でしたが、2日目は天候にも恵まれ、多くの皆様が参加し、にぎやかで楽しいお祭りになりました・・・・と申し上げましたが、実は私、初日、それも半日しか参加していません（スミマセン）。ということで、半日分しか書くことが無いので、私事を織り込みながら、お祭りの様子をさわりだけご紹介いたします。

いきなり私事ですが、お祭り当日は、高崎に住んでいる4人の子どもの内、ちっちゃい組の小3と小1の悪ガキ二人を連れ、参加させていただきました。ご存知のとおり、高崎にも町会ごとの山車が参加する「高崎ふるさとまつり」がありますが、家族の住んでいる町会には山車がないため、妻いわく、子供は山車を引くことを楽しみにしているということでした。しかし、当日は無常にも雨模様・・・。てっきり「行かない。」と言うかと思いきや、二人とも行くと言うのです。親としては秋の冷たい雨で風邪でもひいてはと思い、「寒いぞ。」「濡れるぞ。」と暗に留守番を促したのですが、それでも行くと言うので、山車を曳くことを楽しみにしているんだなと思い、連れて行くことにしました。

お祭り広場に到着すると、すでに大勢の皆さんがあり、揃いの祭り支度で、山車や模擬店の準備に忙しく動いており、お囃子の子供さんたちも練習に余念が無く、また、役所の同僚や若い衆も普段とは違う雰囲気で、お祭り気分が盛り上がっているなど感じました。そして定刻、自治会長さん、役員のかたのごあいさつ、注意事項の説明があり、いよいよ山車の町内引き廻し出発時間が近づきました。雨の方もだんだんと強くなり、出発するころにはそこそこの本降りになっていましたが、そんな雨にもめげず、山車は広場を出発しました。皆が力を合わせて山車を曳き、普段は歩くことのない道路の真ん中を堂々と歩き、山車の上では、子供さんたちが日ごろの練習の成果をいかんなく発揮し、きれいなお囃子を奏でています。私は、山車を曳いたり、押したりしながら、やっぱり「祭り」は見るものではなく、参加するものだと改めて思いながら、うちの悪ガキ二人も楽しんでいるかなと思い姿を探すと、歩道をスタスタと歩いているだけでした・・・（楽しみじゃなかったのかよ。）。

山車がお祭り広場に戻り、雨で濡れた髪の毛をタオルで拭いていると、山車の横を歩いていただけの悪ガキ二人が、私の目の前に、手に持った紙片を突き出しました。それは、「焼まんじゅう」「焼きそば」「フランク」の引き換え券と抽選券でした。なんだ、山車じゃなくてそっちが目的だったのかと思いましたが、それもお祭りの楽しみ方だなと思い、親子3人でおいしくいただき、帰路に就いた次第です。

私達家族の南町一丁目祭りはこれだけでしたが、お祭りに参加された皆様は、充実した秋の休日を過ごされたことと思います。最後になりましたが、お祭りの実施に向けご尽力されました役員、関係者の皆様、参加された皆様、ご寄付をいただいた皆様、本当にありがとうございました。

(1組組長 中嶋 賢一)

楽しかった前橋パレード

9月の終わりごろから、おはやしの練習が始まりました。おはやしは、2年生からやっているのではほとんど覚えていて、今年は3、4年生におおどのたきかたやかまえを教えてあげました。

そして、前橋まつり一日目が始まりました。しかし、一日目は雨が降ってしまい、街には行けず町内パレードのみで、とても残念でした。

二日目は、一日目とうってかわって、とてもいい天気になりました。午前中はマーチングがあり、街で合流しました。街では、5、6年生が中心となり、たいこやおおど、かね、笛をやりました。とてもたくさん的人が見ていて、きん張しました。でも、思いっきり演奏できてよかったです。

最後のおはやしはすごく楽しく、思いっきりやることができ、いい思い出となりました。

(6年 加藤 采)

行事計画 (平成22年12月~23年3月)

	行 事 等	関 係 団 体
12月	南一いきいきサロン（10日） 廃品回収（19日） 餅つき大会（19日） 生け花講習（生涯学習）（28日） 「南町一丁目だより」発行（14号） 上毛かるた練習（8～20日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会 育成会 成年会、寿会、育成会 生涯学習奨励員 編集委員 育成会
1月	南一いきいきサロン（10日） 上毛かるた練習（7～13日） 桃井地区上毛かるた大会（16日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会 育成会 育成会、体育推進委員
2月	南一いきいきサロン（10日） 味噌造り講習会（生涯学習）（中旬） 廃品回収（20日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会 生涯学習奨励員 育成会
3月	南一いきいきサロン（10日） 桃井地区グラウンドゴルフ大会（27日） 寿会日帰り研修視察（中旬）	児童民生委員、保健推進委員、寿会 体育推進委員、南一グラウンドゴルフクラブ、育成会 寿会

南一寿会 秋季研修日帰りの旅 平成22年9月14日

ご長寿祈願 (別所、北向き観音、安楽寺)

「俺は晴れ男だから天気の事は任せておいて」と言ってた山崎会長の言う通り好天気になったが9月中旬はまだ残暑の厳しい頃だった。

スケジュールの都合でいつもより30分早い8時30分の集合、出発です。さー 楽しい旅の始まり。車内は町内の気心知れた皆さんで和気藹々。

別所温泉は大体の方が、一度や二度は訪れた事がある所ではないでしょうか？

松井田ICから高速に乗ると、今井副会長から、「今からクイズを出します」とのこと、「菅平ICを降りるまでトンネルがいくつあるか？」と言うので紙に名前と適当な数を書いて回収されるという楽しみながらの往路でした。

12時少し前に昼食を予約してある「大嶋館」に到着、食事の前にすぐ近くの「北向き観音」を参拝しました。下り石段の脇に、「足湯」があり楽しんだ方も居たようです。

信州はどこで食べても美味しいと言われるおそばですが、「大嶋館」の「釜飯付そば御膳」は格別美味しかったです。

次の参拝は、信州の鎌倉を代表する古刹、「安楽寺」。こちらも長い石段がありますが、運転手さんのご厚意で、石段脇の車道を本堂手前の車止めまで登って下さり皆さん大助かりでした。本堂で参拝を済ませ、本堂裏山中腹に有料ですが「国宝 八角三十塔」があり、こちらは急なジグザクの坂道でしたが無理しない程度にゆっくり登り、見学し記念写真に収まりました。

これで研修は終了。

帰路は渋滞もなく休憩をとりながら、東前橋ICまで直行し第一集会所に到着し、それぞれ解散となりました。ハプニングもなく皆さんのご協力もあり、予定通り到着することが出来ました。お疲れ様でした。



また、次回も参加出来ますよう、皆様お身体ご留意の上、ご自愛下さいませ。

(齊藤 江美)

敬老祝賀会、にぎやかに

町内の敬老祝賀会が、9月23日、約50人の参加のもと第一集会所で開催され、出席者らの長寿をねぎらいました。

南町一丁目では、75歳以上の方が100人で、町内の最高齢は男性100歳、女性97歳です。

祝賀会では、自治会長より「食事、睡眠、運動に気をつけて、ますますのご活躍と長寿を心からお祈り申し上げます。本日はおめでとうございます」とお祝いのあいさつがありました。そして敬老者を代表して、寿会会长の山崎さん



から「本日はこのような会を開催していただき、ありがとうございます。これからも元気で、町内の諸行事に参加協力してゆきたいと思いますのでよろしくお願ひします。高齢者の八割は女性。女性が元気なようです。男性のみなさんも、元気で頑張りましょう」と謝辞の言葉をいただきました。

式典後、参加者はお弁当を食べながらの歓談やbingoゲームなどで、楽しいひと時を過ごしました(ちなみに、bingoゲームの一等は「あきたこまち」&「水沢うどん」でした)。また、育成会の子供たち16名による合唱や、育成会・成年会の皆さんによるケンチン汁のもてなしに終始ご満悦の様子でした。



平成22年度 南町一丁目敬老祝賀会

黒よりも白い服、反射材を付けて！

平成22年9月25日（土）午後6時半より、秋の交通安全運動の一環として「交通安全反射タスキリレー」が行われました。



クなどで、「交通安全」の訴えと呼びかけを行いました。

夜の交通事故被害のほとんどが高齢者、そのうち反射タスキ等を付けていた人は皆無とのことです。

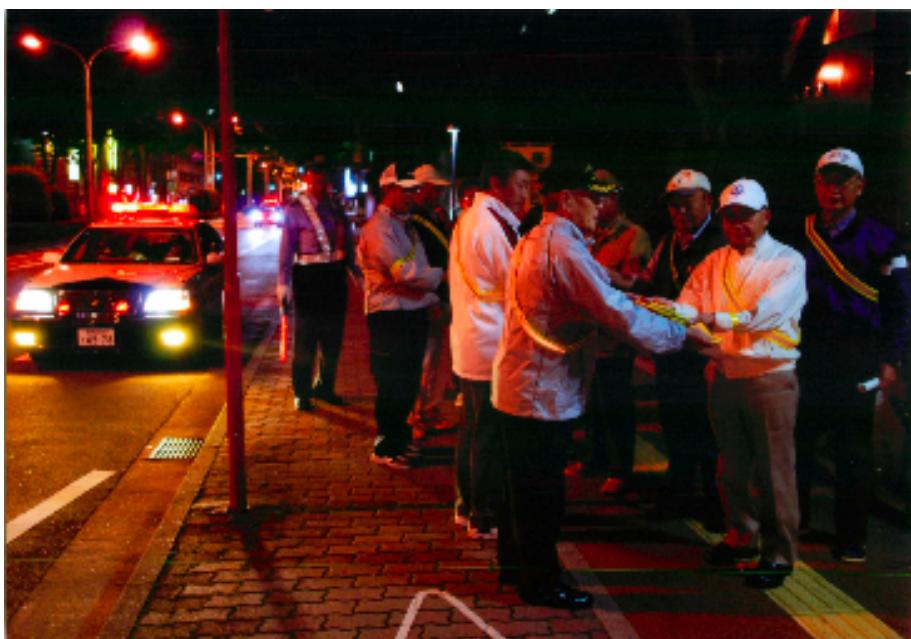
前橋警察署長も挨拶の中で「交通事故死者の約70%以上が65歳以上の高齢者で、県内でも同様な傾向にあります。高齢者の交通事故防止対策としては、夕方の外出時には、運転者が歩行者を認識できるように、明るい色の服を着たり反射材を身に付けるなど、自分の命を自ら守る工夫が必要です」と訴えていました。

反射材の効果実験も行われ、黒よりも白い服、反射材を付けると格段に安全なことが分かりました。

南町一丁目では、田島さん、北爪さん、今井さん、根岸さん、内田さん、福島さんの6名が参加してA区間を行進、吉尾さんが送迎の運転をしてくださいました。

前橋市役所から郡銀朝日町支店まで（東警察署管内）を四つの区間（A～D区間）に分けて、南町一丁目から四丁目の高齢者約20名が反射材を胸にかけ、タスキリレーで行進しました。

パトカーの先導・伴走のもとに、参加者は、のぼり旗・マイ



作品に人柄にじむ

文化祭、いきいきと

秋日和の 11 月 13 日（土）、14 日（日）、第一集会所において、南一文化祭（生涯学習作品展）が開催されました。3 年ぶりということで、作品が集まるかどうか心配されましたが、前回（平成 19 年）を上回る 130 点余の出展があり、会場は日頃のみなさんの努力の成果でいっぱいになりました。

なかでも生き生きサロンの、20 点を越える「新聞ちぎり絵」は制作者のこだわりや添え書きがたいへん魅力的で、年輪の重みが色紙いっぱいに表現されていました。

その他絵画、手工芸、書、写真など、力作・秀作ぞろいで、個性溢れる作品が来場者の目を楽しませてくれました。他の自治会の保健推進委員の方からも、「いろいろなジャンルの作品があつて楽しい」など、お褒めの言葉をいただきました。

また、お茶のみコーナーでは、普段集会所にお見えにならない方も交えての、にぎやかで楽しい交流が興味を添えてくれました。お手伝いをしていただいた民生委員や、保健推進委員、自治会役員の方のお骨折りに感謝申し上げます。

文化の秋、素晴らしい作品の展示が行われ、参加者相互の交流を深めることができたいへん有意義なひとときがありました。

ただ出品者の層をいかに広げたらよいか、大人だけでなく子ども達の作品なども出品してもらう工夫など、課題もあります。

文化祭の内容、取り組み体制も含めて、今後検討してゆきたいと考えています。

（生涯学習奨励委員 福島 勝男）



「南一文化祭」出品目録表（抄録）

No	作品種	細目	作品数
1	絵画	サロン新聞ちぎり絵	20
2	絵画	水彩画	2
3	絵画	押し絵	2
4	絵画	新聞ちぎり絵	1
5	絵画	絵手紙	2
6	絵画	水墨画	2
7	絵画	ちぎり絵	2
8	絵画	はり絵	3
9	絵画	仏画	3
10	書	書額	2
11	書	書幅	2
12	書	漢詩書額	1
13	短歌	色紙	1
14	短歌	短冊	1
15	俳句	写生俳句	2
16	写真	「山車の生い立ち」等	7
17	写真	前橋祭り写真展	20

No	作品種	細目	作品数
18	手工芸	クレイアート	2
19	手工芸	木彫	1
20	手工芸	瓢箪	1
21	手工芸	貝細工	1
22	手工芸	ポルセレーヌ他	3
23	手工芸	表具	2
24	手工芸	パッチワーク	4
25	手工芸	文化刺繡	2
26	手工芸	洋裁	3
27	手工芸	編み物	6
28	手工芸	手芸(袋物・バッグ等)	6
29	手工芸	竹細工	2
30	手工芸	カウンター回路	1
31	手工芸	縫いぐるみ	1
32	手工芸	フランス刺繡	3
33	写真	カメラクラブ作品	23
合 計			134

グランドゴルフへどうぞ

暑い暑い夏も過ぎ、秋祭りも過ぎ、アット言う間に今日は立冬になりました。体にやさしい季節になりました。体を動かし一汗かくのも気持ちの良い時季になりました。

寿会の皆様お元気ですか。私は週2回のグランドゴルフをやっております。皆様も気分の良い時は是非お出掛け下さい。

週2回、火、金曜日朝9時30分よりやっております。仲間とおしゃべりし、球を追い、笑い、にぎやかに楽しくすぐに出来る遊びで、むずかしい事はありません。どうぞお出掛け下さい。お待ちしております。

(グランドゴルフ会員 遊佐 ミエ)

編集後記

「前橋祭り」、「文化祭」とお祭りが続きました。「お祭りを担いで人の成長す」という言葉があります。前橋祭りに参加した子供たちの感想を読んでいると、お祭りは単なる思い出だけではなく、成長の糧となっていることを痛感しました。お忙しい中、たくさんの方から原稿をお寄せいただき、ありがとうございました。

(編集委員／生涯学習奨励員 福島 勝男)

偶数号は、やはり、お祭り特集ですね。

<http://www.ops.dti.ne.jp/~yanaka/3731/>

(編集委員 谷中 勝)